

R7 年度 グループホームしおさい荘 地域連携推進会議議事録

日 時：令和 7 年 11 月 12 日（水） 10:30～11:30

会 場：グループホームしおさい荘 食堂

出席者：松海が丘第二自治会 会長

松海が丘第二自治会 1 班 班長

新潟市西区役所 健康福祉課 係長

社会福祉法人 更生慈仁会 テイクオフ 管理者兼サービス管理責任者

青山信愛会 グループホームしおさい荘 利用者様

青山信愛会 グループホームしおさい荘 ご家族様

青山信愛会 障害福祉事業 SV

青山信愛会 地域活動支援センターはっぴい 管理者

青山信愛会 グループホームしおさい荘 管理者

青山信愛会 グループホームしおさい荘 サービス管理責任者（記録）

1. 開会

しおさい荘管理者より、会議の目的等を説明した。

2. 自己紹介

3. グループホームしおさい荘の施設概要について

○資料に沿って施設概要を説明。

定員 28 名、現在 21 名が利用。

精神障害があり、一定程度の自活能力を有し、共同生活を営める方を対象。

原則、日中活動への参加が必要。

主として、食事、服薬、生活費管理の支援を行っている。

利用期限がないため、年々高齢化してきている。

○しおさい荘利用者様より、生活の様子について話を頂いた。

4. 質疑応答

・利用手続きは区役所で行えばよいか。また助成の制度があるか。

⇒ 区役所で要望を聞き、そのグループホームに空きがあるかを確認し、申請を受け付ける。その後、障害福祉サービス受給者証が交付される。

助成の制度について、グループホームは家賃補助がある。その他、障がいの程度により、手当等の支給制度がある。

・就労で得た収入はどのようになるか。

⇒ 就労で得た工賃や給与はご本人の収入となる。外来 OT の場合はリハビリとなるため、工賃はなく、費用負担が発生する。

5. 意見交換

- ・はっぴい 管理者より。

しおさい荘に隣接。日中の通所先として、内職作業や料理等のプログラムなど、皆で一緒に行く活動を中心に提供。

現在、登録者 38 名、1 日平均通所者 11 名。20 歳～80 歳代の方が利用。

体調面に合わせた通所が可能（毎日通所でなくても可能）。

- ・しおさい荘 ご家族様より。

長い期間利用している。家族と一緒に住むことができれば良いが、事情があり、難しい。現在、80 歳を超えており、いつまで居られるか不安。本人は自分のことは自分でしているつもりだが、十分でなく、変化を認められない部分もある。一方で、少しずつ感じている様子もあり、助言等を聞き入れてくれるところもある。

- ・1 班 班長より。

夜中でも部屋の電気が点いていることがあるため、就寝時間などは決まっているかどうか。屋外のゴミ箱の開閉音が大きく、夜間は気になることがある。

⇒ しおさい荘 管理者より。

22:00 消灯としているが、眠れずに居室で過ごしている方もいる。

ゴミ箱の開閉音については、共有して対応を検討する。

- ・テイクオフ 管理者兼サービス管理責任者より。

テイクオフは包括型のため、外部のサービスは利用できない。利用されている方は重度の方（障害区分 4～5）が多く、高齢化してきている現状あり。

通常は 65 歳になると介護保険サービスが優先となるが、利用されている方が老人ホームで生活して幸せかどうかと考えた際、必ずしもそうではないと感じている。そのため、年齢ではなく、グループホームでの生活が難しくなった際に介護保険サービスに切り替えるよう、できるだけ住み慣れた場所や人と関わって過ごせるよう、サービス提供を行っている。

6. 施設見学

会議終了後、しおさい荘の見学を実施した。

以上